



# ひらどだい

令和5年度 学校だより 5月号 横浜市立平戸台小学校学校長 丹波 悟亮



## 平戸台小らしさ

校長 丹波 悟亮

満開の花で、卒業生や入学生を見守ってくれていた校庭の梅や桜の木が、青々とした葉を広げ、新緑へと姿を変えています。子どもたちの成長を予感させるような木々の成長にうれしくなります。

「一年生を迎える会って、名前がおかしいよ。だって、ぼくたち一年だから、一年生を迎えてもらう会だよ。」一年生の教室から、声が聞こえてきました。

担任の先生が、「そうだね。でも二年生から六年生までのお兄さん、お姉さんは、みんなのことを、優しく迎えてくれる会なんだよ。だから、一年生は、お礼の気持ちを歌で伝えようね。」と話をしていました。

一年生は、歌の練習を感謝の気持ちを込めて、元気な声で練習していました。

二年生から六年生まで、一年生と会えることを心待ちにして、準備を進めていました。当日は、手話付きの「さんぽ」の曲やひらりんじゃんけんなどで、素敵な会を作り上げてくれました。

平戸台小学校のいいところは、異学年交流が、自然と行われ、また、同学年の結束が強まることです。平戸台小学校の子どもたちは、相手のことを思いやり、優しくすることができます。そのため、同じ学年の子とは、深い結びつきができます。異学年の子たちとも交流を深めることができます。

令和5年度、これから始まる、学習や行事を通じて、校庭の梅や桜の木のように、葉を広げ、どんどん成長して、年度末には、見事な花を咲かせてほしいと願っています。